

<令和4年度第2回(6/28)>

- 意見要旨は、対応・検討を求めるものや提案・提起いただいているものを抽出しています。
- 当日のうちに回答を差し上げた意見については除いています。
- 何度か事務局とやりとりをされている場合は1つの意見に集約しています。

(1) 第6次犬山総合計画の序論及び基本構想について

①変更(修正)点について

番号	委員名	意見要旨	対応(案)
1	丹羽委員	まちづくりに対する意見と主要課題をセットにして、上に市民の意見が書かれ、それに対する課題をペアにした方がよいと思う。	ご意見を踏まえいくつかパターンを作成し検討した結果、現在のレイアウトがベターと判断しました。 (資料1 序論(素案) P24-28 参照)
2	丹羽委員	序論だと項目が別になっているが、番号が一致しないので分かりにくい。市民のアンケート結果に対する主要課題を示す方が理解しやすいと思う。	番号を変更しました。 (資料1 序論(素案) P25 参照)

②まちの将来像について

番号	委員名	意見要旨	対応(案)
3	目黒委員	新しい感じがしない。これまでのものを大切にするという印象であり、新しいことをそれぞれが挑戦できるような、前向きな印象がある方がいい。	新しいことに挑戦する、新しいことに取り組むというニュアンスを強調するため、まちの将来像の説明文を変更しました。 (参考資料2 新旧対照表(まちの将来像) 参照)
4	本巢委員	伝統や自然を守っていくことはよいと思うが、主要課題では「商業施設が欲しい」、「雇用創出が必要」といったことが挙げられており、新しいことをしていく必要があると思っているのではないか。そのような思いと将来像がマッチしていないので、主要課題から言葉を引っ張ってきてもいいのではないか。	同上
5	鈴木(温)委員	都市であり、自然豊かでもある。ただの郊外ではないということが犬山の特徴なので、両方を併せ持って、しかもいろんな人が集まって、新しいものをつくっていくようなイメージを加えられるといい。	同上
6	間中委員	伝統は古いものを守るという印象を受けてしまう。新しく感じないのは伝統という言葉が影響しているのではないか。	同上
7	ビアンキ委員	見出しに「都市」が使われることはよいと思う。未来志向に感じる。ただ、説明文ではまちという言葉を使っているため、それがいいバランスだと思う。説明文の表現は調整できたらいい。	同上
8	鈴木会長委員	波線(~)とかぎ括弧(「」)は必要か。波線を付けると副題となる。かぎ括弧は、「いわゆる」という意味になる。	波線とかぎ括弧を削除しました。

(2) 第6次犬山市総合計画の基本計画について

番号	委員名	意見要旨	対応(案)
9	奥村委員	基本構想にある将来都市構造図に照らして基本計画と対照させると、都市拠点エリアは取り上げられているが、善師野駅の今後のあり方を読み取ろうとしても触れられていないように思う。 基本計画素案P36に「公共交通ネットワークの形成」とあるが、これはソフト的な意味に思える。面的な取組みが、(基本構想よりも基本計画の方が)トーンダウンしているように思える。	「取組みの方向性」に「公共交通を利用しやすい環境整備」を追加し、基本構想の「7 将来の都市構造(土地)」(P8)にある「・・・鉄道駅周辺においては、公共交通機関や自転車等との接続を改善し、利便性の確保を図ります」をより具体化して記入しました。 (資料3 基本計画(素案) P28 参照)
10	鈴木(温)委員	市民から多く・強くいただいた意見は基本計画にも入れていかないといけない。特に買い物利便性。商工業で触られているが、住環境・インフラやそれ以外の項目には触れていない。幹線道路沿いへの商業施設の誘導だけで市民の思っていることを解決できるのか。買い物環境の向上は果たせるのか。根本的な解決につながる目標を住環境・インフラに位置づけることを検討いただきたい。	前回では、商工業にあった「幹線道路沿いへの商業施設の誘導」、住環境・インフラにあった「新たな交流施設の整備」を統合し、住環境・インフラの中に「新たな交流施設の整備と買い物等の利便性向上」を設けました。 (資料3 基本計画(素案) P26 参照)
11	本巢委員	男女共同参画よりもジェンダー平等の方がよい。SDGsのなかでもジェンダー平等が使われているので、そちらを使うとよい。	ジェンダー平等へ変更しました。 (資料3 基本計画(素案) P40 参照)
12	丹羽委員	横方向のつながり、バランスが大事。それぞれの施策で中身が偏っている。まちづくりはバランスを取った書き方をしないといけないのではないか。	全体を見直し、「施策」、「取組みの方向性」を整理しました。施策によっての多寡はまだありますが、行政に求められる役割を考慮すると、インフラや福祉系の量が多くなってしまふことは、ある程度はやむをえないと考えています。
13	丹羽委員	絞ったというわりには取組みの方向性は多いと思う。KPIを位置づけてもいいが、できないような細かい内容を設定しても仕方がない。	①全体を見直し、「取組みの方向性」を整理しました。 ②目標値(KPI)につきましては、「取組みの方向性」毎に設けるのではなく、「施策」毎に設けるようにする予定です。(目標値(KPI)については、9/22の審議会にて説明します。)
14	間中委員	書いていることがバラバラな印象があるが、プロモーションはそれをつなぐものだと思うので、それが分かるようにしてもらえるといいと思う。	プロモーションについては、全ての施策を支えるものだという考え方から、現在の表現としています。
15	水内副会長	取組みの方向性のなかで濃度差がある。方向性を示しているものなのか、個別施策まで踏み込んであるものもある。	全体を見直し、「取組みの方向性」を整理しました。